

## H28.8月から9月にかけての大雨災害に関する検証

機関名：陸上自衛隊北部方面總監部

## 1 今回取った主な活動状況（自由記載）

発表資料のとおり。

## 2 個別事項（行が不足する場合は、適宜、行を追加願います。）

項目(※)	発生時点	事実関係	課題	対処方法の方向性
⑤	全 般	発災後、速やかに道庁にリエゾンを派遣し、道庁との迅速な情報共有のため自衛隊システムを設置したことは有効	より迅速な道庁との情報共有が必要	事前に自衛隊専用通信回線を構成（道庁と調整中） その他の情報共有手段として、関係防災機関共通の地図の整備が必要であり、平時における作成・配布を要望
⑥	8月31日	航空機の運用に関し、現場ニーズが振興局を介さず直接道庁に集約され、自衛隊（總監部）に要請あり。總監部が部隊にへり派出の指示を行う際、部隊が振興局に事実を確認するも確認とれずへり派出の調整に影響を及ぼした。	自衛隊各部隊間の情報共有の他、道庁と振興局との情報共有及び現地における自衛隊と関係自治体及び関係防災機関との情報共有が必要	各防災機関の縦横の情報共有を平素から実施する。